学校法人豊栄学園都城東高等学校
〒889-1996 北諸県郡三股町大字樺山 1996 番地　TEL：0986-52-1010　FAX：0986-52-1011
2016 年 2 月発行　No.016

Miyakonojo Higashi High School Newsletter

「第一回みまたん霧島パノラマまらそん」ボランティア活動を行いました

一月二十四日（日）に「第一回みまたん霧島パノラマまらそん」が開催され、ボランティアスタッフとして、本校の生徒や職員など合わせて約九十人が参加しました。天候は十数年振りとなる大寒波の影響で、平地でも雪が積もるほどの厳しいコンディションでしたが、寒さに負けずに疾走する選手達に「頑張れ！」「ファイト！」と熱い声援を送りました。参加した生徒からは「初めて間近でマラソンを見たけれど、とても速くて驚いた。」「飲み物を渡すタイミングが難しかったです。」などの声も聞かれました。なおハーフマラソンの部に、本校から教員四名が参加し完走しました。

大会に先だち、昨年の十二月二十二日（火）に清掃ボランティア活動として、延べ十五・二キロのマラソンコース及び周辺施設の清掃を行いました。約二時間で二十三袋（四十五L入り）分のゴミを回収しました。生徒達にとって社会奉仕・社会貢献の意義や、地域貢献の大切さを肌で感じる良い機会となりました。

“For the students who will accomplish with faithfulness”

平成 27 年度 修学旅行

1 月 13（水）日より修学旅行が 3 泊 4 日の日程で行われました。今年は「グローバルな社会で生きる」を目的として、福島県にあるブリティッシュヒルズでのイギリス体験や英語研修、東京都内の文化施設などの見学等を行い、普段経験できないことを通して目標や進路の幅を広げ、一人ひとりが県内外・国内外を問わず新しい環境に挑戦してみようとする自主性を養いました。

英国の文化体験施設として設立されたブリティッシュヒルズでは、イングリッシュレッスンやクリケット・雪遊びなどのカルチャー体験やテーブルマナー講習などを行い、生徒達からは「貴重な体験でした」「宮崎ではめったにできないことができた」と大好評だったようです。

3 日目の東京では、各学科に分かれ施設見学等を行い、それぞれに関係する文化や産業などを肌で感じました。調理科では、日本の食の中心地である築地中央卸売市場での食事や、「味の素 食の文化センター」の見学を行い、食にこだわることの大切さを理解し、現場で働く人たちを間近で見ることで、調理人としての意識、仕事に対する向き合い方を学びました。午後は、東京ディズニーランドで自由行動を行い、友人たちと思い出作りに励みました。

旅の思い出 *Memories*

感想文　－３泊４日の修学旅行を通して－

修学旅行での思い出は、あまりにも多すぎて、ここには書ききれない程です。ブリティッシュヒルズや築地市場、雷門に東京ディズニーランドそして自主研修・・・毎日が夢のような日々でした。この修学旅行で人をまとめる事の大切さとマナーを学び、それをこれからに生かしていきたいです。そして何よりも、この学年が大好きだと思いました。この修学旅行で深めた絆を信じ、支え合いながら、どんな逆境にも負けない学年になりたいです。（総合ビジネス科　女子）

みやざきの美味しい食づくりプロジェクト
最優秀賞・優秀賞獲得！

河野知事を中心に、入賞者で記念写真（左から２番目山田海斗君、右から２番目 吉國滉騎君）

２月 12 日（金）、県が主催する「みやざきの美味しい食づくりプロジェクト」の発表会及び表彰式が宮崎観光ホテル（宮崎市）で行われました。このコンテストでは、宮崎県産豚肉を素材として、それぞれがオリジナルレシピを考案し応募する形で行われました。応募総数 127 点の中から、各部門最優秀賞１名、優秀賞２名が選ばれ、調理科１年生の末國滉騎君（祝吉中出身）がそうざい部門で最優秀賞、同じく１年生の山田海斗君（姫城中出身）が、ホテル・飲食店部門で優秀賞を獲得しました。昨年行われた同発表会でも、本校生徒２名や卒業生が入賞しており、伝統ある本校調理科として誇れる結果となりました。

県主催
しいたけ料理コンクールで優秀賞・優良賞を獲得

左：安樂美咲さん　右：中西雄斗君

２月６日（土）に、宮崎県しいたけ振興会が主催する「平成 27 年度しいたけ料理コンクール」が宮崎市にある調理師専門学校で開催されました。高校生の部、一般の部あわせて 107 作品の応募の中から 10 名（各５名）が実演審査に選ばれ、本校の生徒 ２ 名が出場しました。日頃の練習の成果を最大限に発揮し、１ 年生の中西雄斗君（山之口中出身）は優秀賞、２年生の安樂美咲さん（末吉中出身）が優良賞を獲得しました。中西君は、鶏肉で椎茸をロールし、「日本のひなた宮崎県」をイメージ。安楽さんは、「五重塔」をモチーフにエビやほうれん草、タマゴなどで彩り豊かに仕上げました。

都城東から世界へ！ *To the world from Miyakonojo Higahi*

～日本の未来をささえ、グローバルな舞台で活躍できる『人材』を育成します～

本校が推進している『グローバル教育』を、海外での語学研修を経験した生徒や活躍中の *English Teacher* の感想や気持ちを通して伝えていくページです。

語学研修 Language training クローズアップ

『語学研修』

調理科 1 年生 佐藤　悠果さん（有水中出身）

私は、フィリピンでの語学研修に参加して自分を成長させることができました。まず、フィリピンについたときの日本との空気の違いに気づきました。寮につくと、お風呂が狭くてトイレと同じ場所にあった事に衝撃を受けました。学校が始まってから忙しくなり、皆の気持ちがバラバラになり喧嘩をする事もありましたが、そのたびに絆が深まり良い関係を築けました。途中、先生が海外へ行ってしまう事を知り、お別れをした後も涙が止まらず、仲間が一人減ることの悲しさを凄く感じました。ある日、教会でストリートチルドレンを見ました。靴は履いておらずやせ細っており、大人の人に「何か頂戴と」何回も言っていました。それを見て自然と涙が出てきました。私も1回言われましたが、怖くて何もあげることができませんでした。何もできなかった自分がとっても悔しく、貧富の差が激しいことを目の当たりにしました。フィリピンでは多くのイベントに参加し、大勢の前でダンスもしました。もともと、ダンスには興味がありましたが、人前では恥ずかしくてできませんでした。ですが、フィリピンに行った事で恥ずかしいという事がなくなりました。私は、フィリピンで自分を大きく変える事もでき友達もできました。そして、将来のことについても考える事ができました。私の夢は海外で働くシェフになってストリートチルドレンを助けられる人になることです。

" We have had the time of our lives, And now the page is turned The stories we will write And I will not forget the faces left behind It's hard to walk away from the best of days But if it has to end, I'm glad you have been my friend. In the time of our lives. "

This is from a chorus of a song entitled Time of Our Lives by Tyrone Wells which exactly depicts the feelings we put unto this once in a lifetime opportunity. Three months must be too short and time must be too fast but the memories me made and the lessons we embarked and learned from all of the experiences here in Miyakonojo Higashi High School will surely last 'til a lifetime! This three-month internship enabled us to share what we have such as skills, values and knowledge to students as well as teachers. We also learned something from them in the duration of the program which we will be bringing for the rest of our lives. This opportunity has been a great venue for us to find ourselves and to know it more. We were able to find new friends and people who inspires us to do more and to do great not only for our students but for ourselves too! We believe that this program could bring us closer and be united for the welfare of students. Teaching and Learning English may be difficult for the students, but we can see and feel that

each students has its own interest in the language. Learning this language is one way of building camaraderie with other nations in building a better future for this young minds, A future that will create a change within themselves and ready to conquer the global world with confidence in speaking the language. Thank you Higashi for letting us impart the value of English as a bridge in building a better future. Til we meet again!

世界で活躍する若者を育てます To the world from Miyakonojo Higashi

デュアル教育　職業教育による本物の人材育成

グローバル教育　グローバル化に対応出来る人材育成

礼節道徳教育　日本人としての基本的人格の育成

学校法人豊栄学園 都城東高等学校 〒889-1996 北諸県郡三股町大字樺山 1996 番地
TEL：0986-52-1010　FAX：0986-52-1011　E-mail:mh-hs-so@btvm.ne.jp

都城東高等学校広報誌　第 16 号　発行日：2016 年 2 月　発行：学校法人豊栄学園都城東高等学校

学校の最新情報はウェブサイト（http://miyako-higashi.ac.jp/）でチェックできます。